



JASDI

令和元年度第1回 JASDI フォーラム

テーマ：『マルチチャネル時代の医薬品情報と MR の情報活動』

—医薬品情報のマルチチャネル化は、MR活動にどのように影響するのか—

医薬情報担当者は、「医薬品の適正使用に資するために、医療関係者を訪問すること等により安全管理情報を収集し、提供することを主な業務として行う者をいう」と GVP 省令において定義されている。医薬品情報が紙媒体の時代には、医薬情報担当者 (MR) を介して医療関係者と Face to Face で情報の提供、収集、伝達を行っていたが、インターネットを介して情報がいつでも、どこでも入手可能な時代になり、一部で MR の存在意義が問われている。

MR に対する医療機関への訪問規制が強化される時代において、企業は Web コンテンツを充実するなど、マルチチャネルを通じて医薬品情報の更なる充実化を図っている。

本フォーラムでは、マルチチャネル時代の医薬品情報のあり方を俯瞰するとともに、医師の立場、薬剤師の立場、MR の立場から必要とされる医薬品情報のあり方を検討し、MR の存在意義について討議する。

《プログラム》

日 時： 2019 年 7 月 20 日 (土) 13:30~16:45 (受付開始は 13:00 から)

主 催： 一般社団法人日本医薬品情報学会
(JASDI : Japanese Society of Drug Informatics)

後 援： 日本製薬工業協会
公益財団法人 MR 認定センター

会 場： 東京大学薬学系総合研究棟 2 階 講堂

https://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_10_02_j.html

13:30~13:40 開会挨拶 (一社)日本医薬品情報学会 副理事長 後藤伸之

13:40~15:55 講演

座長： 東京大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長 大野能之

講演 1. 13:40~14:10

「マルチチャネル時代の医薬品情報のあり方を俯瞰する」

コニカミノルタプレジジョンメディシンジャパン (株) オペレーショナルエクゼクティブ
ディレクター 小牧弘典

講演 2. 14:10~14:40

「医師から見たマルチチャネル時代の医薬品情報と MR の役割」

横浜労災病院 乳腺外科部長 千島隆司

講演 3. 14:55～15:25

「薬剤師から見たマルチチャネル時代の医薬品情報と MR に対する期待」

杏林大学医学部附属病院 薬剤部 若林進

講演 4. 15:25～15:55

「マルチチャネル時代における MR の役割と医薬品情報活動」

公益財団法人 MR 認定センター 近澤洋平

16:00～16:40 総合討論

「マルチチャネル時代の MR のあり方と、今後の期待される役割」

16:40～16:45 閉会挨拶

(一社)日本医薬品情報学会フォーラム委員会

副委員長 鈴木信也

参加費：当日会場にてお支払いください。

日本医薬品情報学会会員 3,000 円

〃 賛助会員社員 3,000 円 (当日会社名を確認させていただきます)

非会員 5,000 円

学生 1,000 円

参加申し込み：

JASDI ホームページよりお申込みください。

<http://www.JASDI.jp/>

本フォーラムは、「医薬品情報専門薬剤師」の認定及び更新のため、(社)日本医薬品情報学会が指定する講演会です。

本フォーラム 1 回の出席、「受講証明書」をもって認定単位「5 単位」が、また「受講証明書と指定の研修レポートの提出(証明書)」をもって更新認定単位「5 単位」が取得できます。研修レポートの提出など詳細は、JASDI ホームページでご確認下さい。

注) 今回、公益財団法人日本薬剤師研修センターの「認定薬剤師研修受講シール」、一般社団法人日本病院薬剤師会の「日病薬病院薬学認定研修単位シール」の配付はございません。